

平成26年4月吉日

お得意様各位

株式会社 タテムラ  
システムサービス課  
福生市牛浜104

System-V/LX 財務消費税率8%改正プログラム～第2弾～ の送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

財務消費税率8%改正プログラムの第2弾が完成しましたのでお届け致します。つきましては同封の資料を参照の上、更新作業を行っていただきますようお願い申し上げます。

今までデータ管理種類が(旧)データで、前回発送の消費税率8%対応更新後すでに(26)になっているデータにおいては、科目名や合計科目の貸借税原則が正しくない可能性があります。お手数ですが、P.5の方法で必ずデータ確認を行っていただき、該当データがあった場合には自動科目修正作業を行っていただきますようお願い申し上げます。

今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

送付資料目次

※ご注文または財務プログラム保守契約にもとづき、以下の内容を同封しております。

送付プログラム

- ・ System-V/LX用  
財務消費税率8%改正プログラム第2弾 CD-R 1枚  
※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

取扱説明書

CD-R内にPDFファイルとして入っています。

案内資料

- ・ 同封物の解説及びバージョンNO.一覧 . . . . . 1
- ・ [1000]プログラムの更新作業 . . . . . 2～3
- ・ 財務プログラム 更新内容 . . . . . 4

※※必ずご確認をお願いします※※

- ・ (旧)→(26)データ確認方法及び自動科目修正 . . . . . 5～6

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願い致します。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00～12:00 PM1:00～3:30)  
FAX 042-553-9901

以上

ご注文および財務プログラム保守契約に合わせて、以下のCD-Rを同封しております。



今回送付した更新版CD-Rには

- ・各プログラム
- ・PDFファイルの取扱説明書

を1枚に入れて送付しています。

No	ラベル名	枚数	備考
1	System-V/ LX 財務消費税率8%改正プログラム第2弾	1	プログラムインストールCD-Rです。

### ●バージョンNo.一覧

下記のプログラムは[F 6] (登録&入力)・[F 7] (帳表出力)・[F 8] (補助&比較等出力)・[F 17] (特殊管理登録)に表示します。

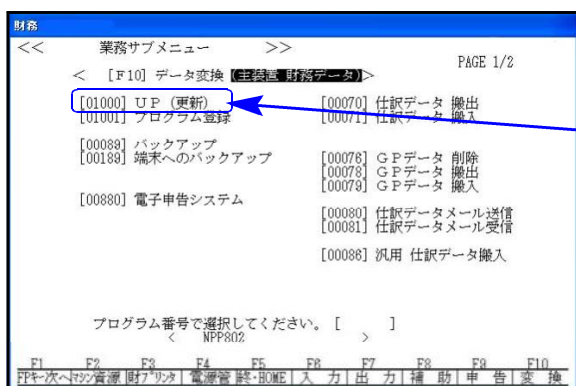
PG番号	プログラム名	VER	備考	
11	仕訳入力	V-4.70	・TAC-Vコードにおいて消費税率8%に対応しました。 ・簡易元帳リストでページダウン/アップでリスト表示が抜けてしまう現象の改善を行いました。	
91	仕訳データ補正	V-5.02	データ管理種類(旧)→(26)になっているデータで、科目名や貸借税原則が正しくないものを修復する機能を追加しました。	
760	月別仕訳データコピー	V-3.11	データ管理種類の異なるデータ間での科目コピーが一部可能になりました。	
41	消費税仕入控除額計算書シミュレーション	V-5.01	合併サブミットの機能改善を行いました	
PG番号	プログラム名	V-VER	LX-VER	備考
30	合計残高試算表	V-5.00	V-4.00	税抜き処理において、消費税率8%に対応しました。
31	営業成績報告書	V-5.00	V-4.00	
32	青色営業成績報告書	V-5.00	V-4.00	
33	当期原価報告書	V-5.00	V-4.00	
58	部門別営業成績推移表	V-5.00	V-4.00	
59	部門別当期原価推移表	V-5.00	V-4.00	
60	部門別営業成績報告書	V-5.00	V-4.00	
61	部門別当期原価報告書	V-5.00	V-4.00	
50	総勘定元帳	V-5.00	V-4.00	消費税率印刷する/しない、の選択対話を追加しました。
63	科目別補助簿	V-5.00	V-4.00	
37	消費税精算表	V-5.01	V-4.01	合併サブミットの機能改善を行いました
40	課税区分集計表	V-5.01	V-4.01	

※オプションプログラムのバージョンもあわせて記載しております。ご購入いただいていないプログラムは[---]で表示します。ご不明な点がございましたらサービス課までご連絡下さい。

※ 前回(平成26年3月30日)発送の更新を行った上で、今回の更新作業を行って下さい ※

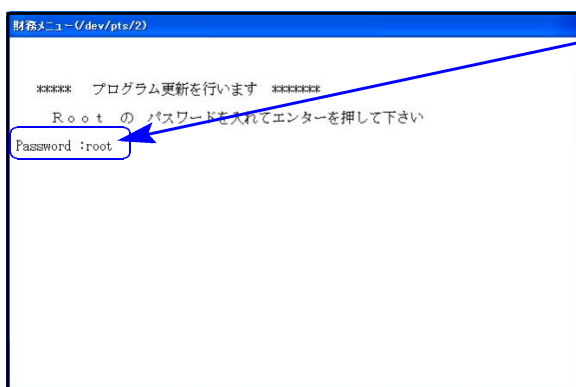
## ● 操作方法

- ① 「財務消費税率8%改正プログラム第2弾 14.04」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② **F10** データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000] UP (更新)**を呼び出します。

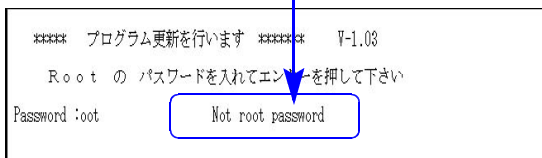
**1000** **Enter** を押します。



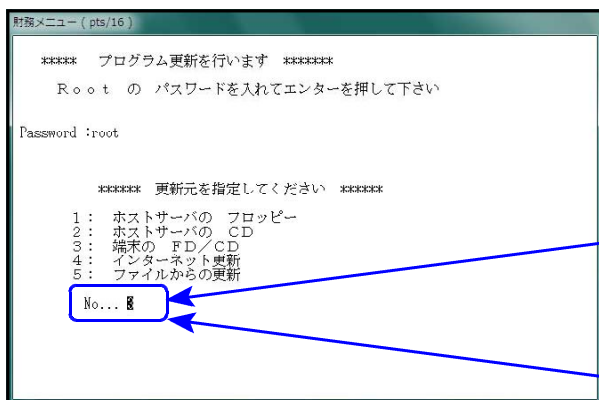
**Enter** を押します。  
(rootは入力しません)

**root** は消さないように注意して下さい。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。



※ LX:2005年7月以前納品の機械(LX-TURB010)は、2:ホストサーバのCDで作業して下さい。



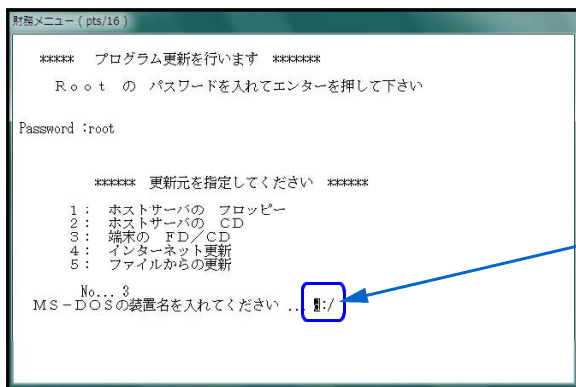
- ③ 左図の画面を表示します。

「財務消費税率8%改正プログラム第2弾 14.04」と書いてあるCD-Rをセットして『3』端末のFD/CDを選択します。

**3** **Enter** と押します。

※ 親機にCD-Rをセットした場合は **2** **Enter** を押します。

→ ⑤へ移動



- ④ 『3』 端末の F D / C D を選択すると『MS-DOSの装置名を入れてください..d:/』等、前回指定したドライブ名を表示しますので CD-ROMのドライブ名を確認します。

表示したドライブ名が違う場合は、入力後 **Enter** を押します

※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認して下さい。

### CD-ROMのドライブ名の確認方法

マイコンピュータを開きます。  
CD-ROMのドライブを確認して下さい。

左図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。

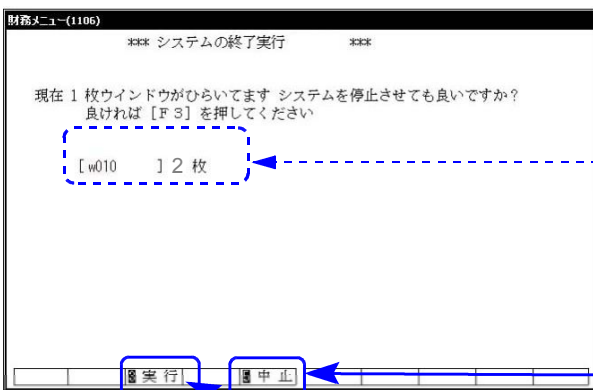


- ⑤インストールを実行します。  
左図の1行目の画面を表示します。  
『OOOをインストールします[y/n/a/1?...]』  
**a** 又は **1** を選択します。  
※誤って、**y** を選択した場合は2行目以降で **a** 又は **1** を選択して下さい。

- ⑥2行目以降を表示します。  
終了が出た後しばらくお待ち下さい。

- ⑦インストールが終了すると左図の画面を表示します。  
CD-Rを本体から取り出してください。  
他の端末が起動していないことを確認します。

※ここに転送作業中の端末名のみ表示していることを確認します。他の端末名を表示している場合はその端末を終了して下さい。



#### 単体の場合

**中止**(F 5)を何回か押してシステムを終了し Windows画面、もしくはポータル画面まで戻ります。戻った後、3分ほど待ち、再度システムを起動して下さい。

#### ネットワークの場合

**実行**(F 3)を押し、しばらくお待ち下さい。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的に**マルチウィンドウ端末が終了**、その後親機の電源も自動的に切れて再起動します。(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても再起動しない場合は、電源ボタンを押して起動させて下さい。)

※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

● 以下帳表の税抜き処理において、消費税率8%に対応致しました。

[30] 合計残高試算表 [31] 営業成績報告書 [32] 青色営業成績報告書 [33] 当期原価報告書  
 [58] 部門別営業成績推移表 [59] 部門別当期原価推移表 [60] 部門別営業成績報告書  
 [61] 部門別当期原価報告書

● [50] 総勘定元帳 / [63] 科目別補助簿

印刷指定に「税率 1. いる 2. いらぬ」を追加しました。

補助変換	[ 1 ]	<input checked="" type="radio"/> 1.全コード	<input type="radio"/> 2.なし	<input type="radio"/> 3.一部
	[ 1 ]	<input checked="" type="radio"/> 1.明細のみ	<input type="radio"/> 2.コードと明細	<input type="radio"/> 3.な
消費税マーク	[ 1 ]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
売上対応区分	[ 1 ]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
<b>税率</b>	[ 1 ]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
日計残高	[ 1 ]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
月別合計	[ 1 ]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
期首補助残高	[ 2 ]	<input type="radio"/> 1.いる	<input checked="" type="radio"/> 2.いらぬ	
※出力形式				
用紙選択	[ 2 ]	<input type="radio"/> 1.縦型(B5)	<input checked="" type="radio"/> 2.縦型(A4)	<input type="radio"/> 3.横型
印刷頁				

「税率 1. いる」にすると  
 摘要の先頭に消費税率を  
 印刷します。

26年		308 事務用品費			
月日	科目名	摘要	借方	貸方	差引残高
3 31	現金	5% ノート他	1360		
"	"	5% ｷ:伝票	2130		3490
	3 月 計	-----	3490		
4 1	現金	8% ぺん	1253		4743
2	"	8% 罫:文房具	1000		5743

● T A C-Vコードでご使用のデータにおいて、消費税率8%に対応致しました。

● [760] 月別仕訳データ補正において、科目コピーの機能を追加しました。

データ間での科目コピーが、以下の範囲でできるようになりました。

コピー元管理種類	コピー先管理種類	
(旧)	→ (旧)	} 一般科目・合計科目とも指定可 科目登録内容を全部コピー
(14)	→ (14)	
(18)	→ (18)	
(18)	→ (26)	
(26)	→ (26)	
(旧)	→ (26)	} 一般科目のみ指定可 科目名・短縮科目名・略称のみコピー
(14)	→ (26)	

※上記以外はコピー不可※

● [91] 仕訳データ補正に「7. その他」を追加しました。

※7. その他の使用方法については、次ページの『(旧)→(26) データ確認方法及び自動科目修正手順』をご覧ください。

前回(平成26年3月30日)発送の第1弾更新後、平成26年4月1日を含む会計期間データは管理種類が(26)データに自動で変わっています。※消費税率8%の入力ができるデータは管理種類(26)です。

今までデータ管理種類が(14)商法対応や(18)会社法対応のものが(26)に変わった場合は問題ありませんが、(旧)データだったものが(26)に変わった場合は科目名や科目の貸借税原則が正しくない可能性があります。特に個人データにおいては平成14年商法以降科目体系が変わりましたが、(14)への変更を行わずに(旧)のまま使用していた場合は科目修正が必要です。

以下の方法でデータの確認を行っていただき、(旧)→(26)該当データがある場合にはデータごとに自動科目修正作業をお願い致します。

※今回の第2弾更新後に(旧)→(26)に変わったデータは問題ありません。

**確認方法**

- 《方法1》 [99]仕訳データリストで管理種類を確認します。  
(26)データがあったら、その前期(年)データの管理種類を確認して下さい。

\*\*\* ユーザリスト (V-5.00) \*\*\*

前期(旧)→今期(26) 修復が必要です。

番号	ユーザ名	期首日	期	種別	ファイル位置	
1001	田中 一郎	平23. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	旧
1001	田中 一郎	平24. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	旧
1001	田中 一郎	平25. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	旧
1001	田中 一郎	平26. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	26
1002	鈴木 次郎	平25. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	14
1002	鈴木 次郎	平26. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	26
5001	株式会社 東京商事	平24. 4. 1	11	法人	主装置 財務データ	18
5001	株式会社 東京商事	平25. 4. 1	12	法人	主装置 財務データ	18
5002	ニューワ株式会社	平23.10. 1	1	法人	主装置 財務データ	18
5002	ニューワ株式会社	平24.10. 1	2	法人	主装置 財務データ	18
5002	ニューワ株式会社	平25.10. 1	3	法人	主装置 財務データ	26

前期(14)→今期(26) 問題ありません。  
前期(18)→今期(26)

《方法2》 試算表での確認方法

(旧)→(26)になったデータは、試算表でもチェックできます。  
個人の場合は『差引金額』の損益表示が逆になります。法人の場合は合計科目名が会社法対応になっていません。

財務: v 1.0 pts/27

\*\*\* モニター試算表 (V-3.11) \*\*\*

出力用紙:白紙A4又は11×11

ユーザ: 3098 田中 一郎

期首日:平成26年 1月 1日

期間:1月 1日~ 4月30日

コード	科目名	前残	借方計	貸方計	残高
501	売上高	0	0	4,085,138	4,085,138
502	売上高B	0	0	502,000	502,000
9572	[売上(収入)金額]	0	0	4,587,138	4,587,138
401	仕入高	0	1,360,311	0	1,360,311
9520	[売上原価]	0	1,360,311	0	1,360,311
9574	[差引金額]	0	3,228,827	0	-3,228,827
9581	[差引金額]	0	3,228,827	0	-3,228,827
343	貸倒引当金繰入	0	343	0	343

個人データの差引金額  
利益なのにマイナス表示していたら、修正が必要です。

法人データ「繰越利益剰余金」になっていなければ修正が必要です。

600	[資本金]
813	減資差益
9686	[資本準備金]
9513	[法定準備金]
9516	[当期末処分利益]
9594	うち当期損益
9674	[その他利益剰余金]
9514	[欠損金]

自動科目修正手順

```
財務メニュー (pts/10)
*** 仕訳データ補正 (V-5.01) ***
ユーザ.....[ 1001: 田中 一郎 ]
期首日.....[平成 26. 1. 1]
種別.....[法人]
補正選択....[ ]
1. ユーザコード変更
2. 期首日変更
3. 種別 (法人/個人) 変更
4. コード変更(H14年商法変更)
5. コード変更(H18年会社法変更)
6. 消費税個別対応変更
7. その他
```

1. [91]仕訳データ補正で、該当ユーザコードを入力後、補正選択「7. その他」を選択します。

「7」を入力します。

```
Z0004 :
V-1.01
仕訳データ補正 (その他) 業務選択
1: (旧) → (26) データ科目補正
No. .... [ 1 ]
```

2. 左図の画面を表示します。

「1」を入力します。

```
Z0018 :
==== (旧) → (26) データ科目補正 ====
対象ユーザ 1 平成 26年 田中 一郎 (26)
旧ユーザ 1 平成 26年 田中 一郎 (旧)
(旧) → (26) データ科目補正 行いますか [ 1 ] 1:行う 2:行わない
```

3. 左図の画面を表示します。

「1:行う」を選択します。

```
Z0018 :
==== (旧) → (26) データ科目補正 ====
対象ユーザ 1 平成 26年 田中 一郎 (26)
旧ユーザ 1 平成 26年 田中 一郎 (旧)
(旧) → (26) データ科目補正 行いますか [ 1 ] 1:行う 2:行わない
===== 実行 =====
```

4. 「完了」を表示したら終了です。

**F5** キーを押します。

※操作等、ご不明な点がございましたらシステムサービス課までお問い合わせ下さい。